

## 2011 年（平成 23 年）の近畿地方の天候

本資料は、近畿地方の 11 の観測地点（豊岡、舞鶴、彦根、京都、神戸、姫路、洲本、大阪、奈良、和歌山、潮岬）による観測値などをもとにまとめました。

### 1 2011 年（平成 23 年）の特徴

#### ○ 気温の変動大きい

近畿地方平均の月平均気温平年差を見ると（図 1）、気温の変動が大きくなりました。1 月、3 月、4 月、12 月は「低い」階級となりました。特に、1 月と 3 月は「かなり低い」階級となり、1 月は統計開始（1946 年）以降第 5 位の低温となりました。2 月、6 月、7 月、11 月は「高い」階級となりました。特に、11 月は「かなり高い」階級となり、統計開始（1946 年）以降第 2 位の高温となりました。

なお、年平均気温平年差は +0.1℃ となりました。

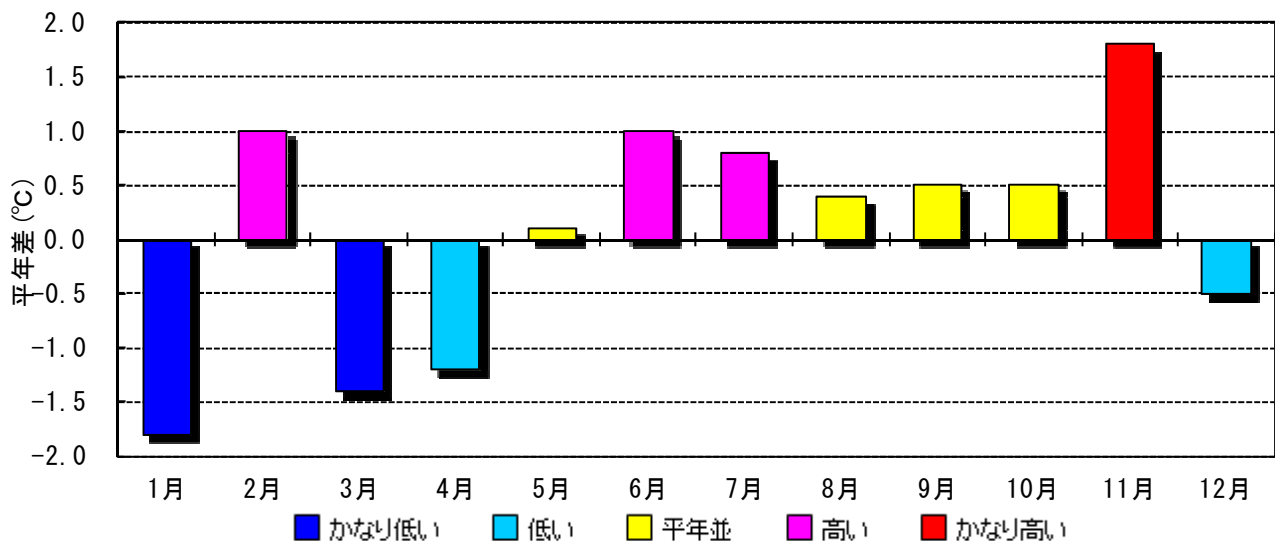


図 1：2011 年（平成 23 年）の近畿地方平均の月平均気温平年差（近畿 11 観測地点の平均）

#### ○ 降水量前半変動大きく、後半多雨傾向、冬～春多照傾向

近畿地方平均の月降水量の平年比を見ると（図 2）、2 月、5 月、9 月、10 月、11 月は「多い」階級となりました。特に、5 月と 9 月は「かなり多い」階級となり、統計開始（1946 年）以降、5 月は第 1 位、9 月は第 3 位の多雨となりました。また、9 月には台風第 12 号により、紀伊半島で記録的な大雨となり、甚大な被害が発生しました。1 月、3 月、12 月は「少ない」階級となりました。特に、1 月と 3 月は「かなり少ない」階級となり、1 月は統計開始（1946 年）以降第 2 位の少雨となりました。

近畿地方平均の月間日照時間の平年比を見ると（図 3）、1 月、2 月、3 月、4 月、9 月は「多い」階級となりました。特に、1 月は「かなり多い」階級となり、1946 年以降第 4 位の多照となりました。5 月、6 月、11 月、12 月は「少ない」階級となりました。

なお、年降水量平年比及び年間日照時間平年比はそれぞれ 128% 及び 102% となりました。

表 1 に各気象要素の統計値を示します。

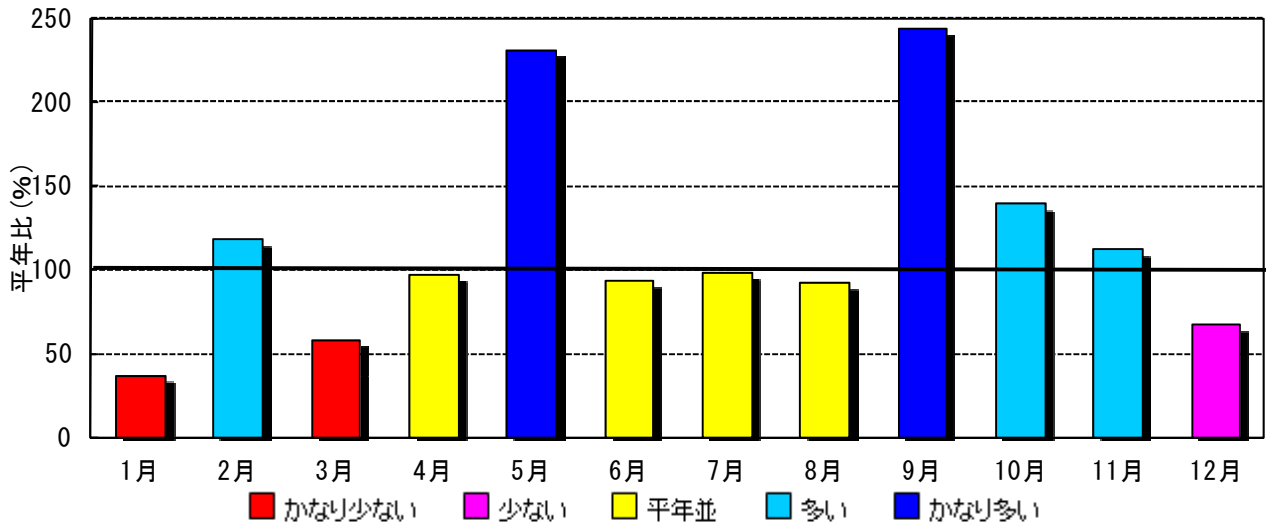


図2：2011年（平成23年）の近畿地方平均の月降水量平年比（近畿11観測地点の平均）

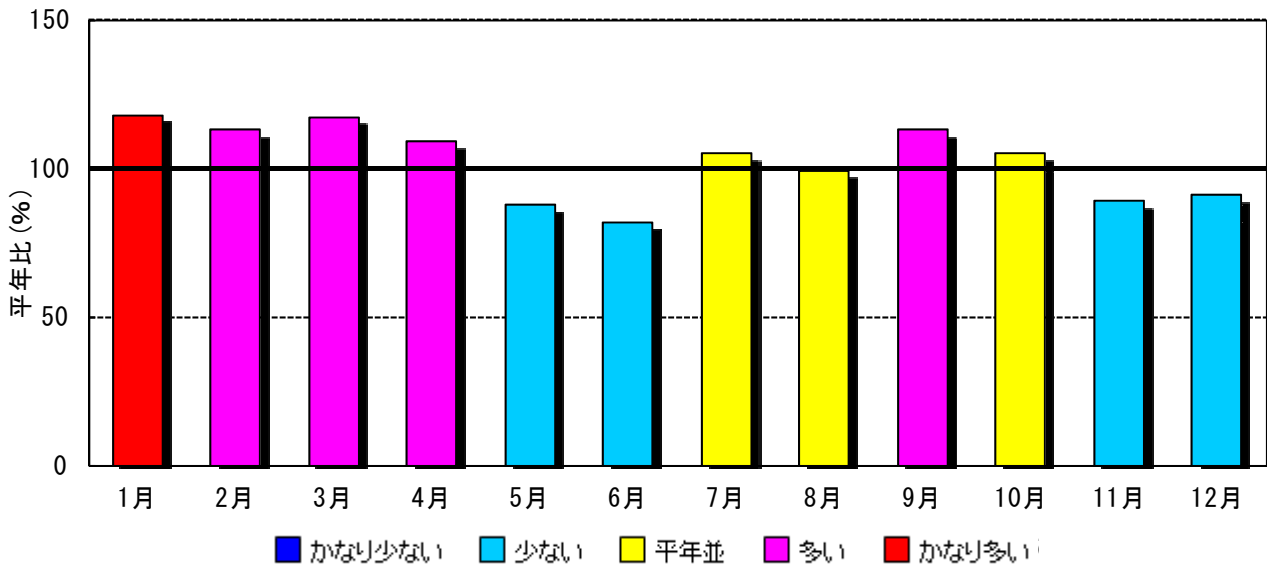


図3：2011年（平成23年）の近畿地方平均の月間日照時間平年比（近畿11観測地点の平均）

表1：2011年（平成23年） 近畿地方地域平均平年差（比）と階級

	月	平均気温		降水量		日照時間	
		平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
2011年(平成23年)	1月	-1.8	かなり低い	37	かなり少ない	118	かなり多い
	2月	+1.0	高い	118	多い	113	多い
	3月	-1.4	かなり低い	58	かなり少ない	117	多い
	4月	-1.2	低い	97	平年並	109	多い
	5月	+0.1	平年並	231	かなり多い	88	少ない
	6月	+1.0	高い	93	平年並	82	少ない
	7月	+0.8	高い	98	平年並	105	平年並
	8月	+0.4	平年並	92	平年並	99	平年並
	9月	+0.5	平年並	244	かなり多い	113	多い
	10月	+0.5	平年並	139	多い	105	平年並
	11月	+1.8	かなり高い	112	多い	89	少ない
	12月	-0.5	低い	67	少ない	91	少ない

## ○ 近畿地方の梅雨入り、梅雨明けともかなり早かった

近畿地方の梅雨入りは5月22日ごろ(平年:6月7日ごろ)でかなり早く、統計開始(1951年)以降最も早く(1956年と並び1位タイ記録)になりました。梅雨明けは7月8日ごろ(平年:7月21日ごろ)で、かなり早くなりました。

表2:「梅雨期間の雨量\*一覧表」(期間:5月22日~7月7日)

地点名	実況値(mm)	平年値(mm)	平年比(%)
豊岡	468.0	234.3	200
舞鶴	484.5	247.5	196
彦根	362.5	280.8	129
京都	467.5	311.1	150
神戸	450.5	264.1	171
姫路	326.5	245.2	133
洲本	652.0	279.8	233
大阪	498.0	271.9	183
奈良	510.0	274.4	186
和歌山	630.5	272.2	232
潮岬	602.0	504.0	119

※「梅雨期間の雨量」は、5月22日~7月7日の日別合計です。  
平年値についても5月22日~7月7日の日別合計平年値です。

## ○ 近畿地方への台風の上陸はなく、接近数は4個であった

近畿地方への台風の上陸はありませんでした。接近数は4個(平年:3.2個)でした(近畿地方へ接近した台風は第2号、第6号(潮岬付近を通過)、第12号、第15号)。

また、台風発生数は21個(平年:25.6個)で、台風統計開始の1951年以降で4番目に少なくなりました。

## 2 月別の概況

- (1月) 冬型の気圧配置となる日が多く、日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では晴れの日が多くなりました。
- (2月) 天気は数日の周期で変わりました。気温の変動が大きくなりました。
- (3月) 天気は数日の周期で変わりましたが、低気圧があまり発達せず平年に比べ晴れの日が多くなりました。また、この時期としては強い寒気がたびたび入り、気温が低くなりました。
- (4月) 天気は数日の周期で変わりました。前半は高気圧に覆われ晴れの日が多く、後半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。
- (5月) 低気圧や前線および台風の影響により、降水量が多くなりました。近畿地方は22日ごろ梅雨入りしました。
- (6月) 上中旬は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。下旬には一時的に梅雨前線の活動が弱まり平年に比べ晴れの日が多くなりました。
- (7月) はじめは、梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。近畿地方は、8日ごろ梅雨明けし、中旬にかけて太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日が多くなりました。下旬は気圧の谷や上空の寒気の影響で、平年に比べ晴れの日が少なくなりました。
- (8月) 前半は太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多くなりました。後半は停滞前線や南からの湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。
- (9月) はじめは台風第12号や前線の影響で広い範囲で大雨となり、記録的な大雨となった所もありました。その後は高気圧に覆われて晴れる日が多くなりましたが、中頃から下旬はじめにかけては、前線や台風第15号の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった所もありました。
- (10月) 天気は概ね数日の周期で変わりました。気温の変動が大きくなりました。

(11月) 天気は概ね数日の周期で変わりました。中旬までは南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、この時期としては記録的な高温となりました。

(12月) はじめは気圧の谷や寒気の影響で、曇りや雨または雪の日が多くなりました。その後は冬型の気圧配置となる日が多くなりました。

### 3 2011年(平成23年) 近畿地方気候表

表3：年平均気温

地点名	年平均気温		
	気温(°C)	平年値(°C)	平年差(°C)
豊岡	14.5	14.3	+0.2
舞鶴	14.8	14.5	+0.3
彦根	15.0	14.7	+0.3
京都	16.0	15.9	+0.1
神戸	16.8	16.7	+0.1
姫路	15.4	15.2	+0.2
洲本	15.5	15.5	0.0
大阪	16.9	16.9	0.0
奈良	15.0	14.9	+0.1
和歌山	16.6	16.7	-0.1
潮岬	17.0	17.2	-0.2

表4：年降水量

地点名	年降水量		
	降水量(mm)	平年値(mm)	平年比(%)
豊岡	2424.5]	2027.1	X
舞鶴	2348.5	1826.6	129
彦根	1800.5	1570.9	115
京都	1650.5	1491.3	111
神戸	1624.5	1216.2	134
姫路	1519.0	1199.0	127
洲本	2497.5	1406.6	178
大阪	1614.0	1279.0	126
奈良	1473.0	1316.0	112
和歌山	1750.5	1316.9	133
潮岬	2893.5	2519.0	115

表5：年間日照時間

地点名	年間日照時間		
	日照時間(h)	平年値(h)	平年比(%)
豊岡	1465.1	1489.4	98
舞鶴	1546.4	1538.8	100
彦根	1849.5	1825.8	101
京都	1770.0	1775.1	100
神戸	2104.1	1995.1	105
姫路	2040.5	2032.6	100
洲本	2141.5	2066.8	104
大阪	2162.6	1996.4	108
奈良	1847.8	1823.0	101
和歌山	2139.7	2088.8	102
潮岬	2245.5	2201.2	102

注：データの「]」は、「資料不足値」で、統計値を求める対象となる資料が許容する資料数を満たさない場合に付加しています。十分な信頼性がないため、ご利用に際しては十分留意願います。また、「×」は、「資料なし(欠測)」で、値が得られなかったことを示しています。

4 2011年（平成23年） 年極値・順位更新表

表6：「年降水量の多い方から」の順位更新表

順位	地点名	月降水量			
		降水量(mm)	平年値(mm)	平年比(%)	統計開始年
1	洲本	2497.5	1406.6	178	1919

注：年平均気温、年降水量合計、年間日照時間合計について、極値・順位値が更新された統計項目について掲載しています。また、掲載は、極値・順位値3位までの更新分としています。

5 2011年（平成23年） 月別極値・順位値更新表

表7：「月平均気温の高い方から」の順位更新表

月	順位	地点名	月平均気温			
			平均気温(°C)	平年値(°C)	平年差(°C)	統計開始年
6	2	姫路 ※	23.1	22.1	+1.0	1948
		豊岡	23.1	21.5	+1.6	1918
	3	舞鶴	23.0	21.3	+1.7	1947
		彦根 ※	23.0	21.4	+1.6	1894
11	1	豊岡 ※	12.9	10.7	+2.2	1918
		洲本	14.7	12.9	+1.8	1919
	2	舞鶴	13.2	11.0	+2.2	1947
		京都	13.8	12.1	+1.7	1880
		姫路	13.7	11.5	+2.2	1948
		神戸	15.7	13.9	+1.8	1897
		大阪 ※	15.2	13.6	+1.6	1883
		和歌山	15.1	13.5	+1.6	1879
		彦根	13.1	11.4	+1.7	1893
	3	潮岬 ※	16.6	15.3	+1.3	1913
		奈良	12.6	11.1	+1.5	1953

表8：「月降水量の多い方から」の順位更新表

月	順位	地点名	月降水量			
			降水量(mm)	平年値(mm)	平年比(%)	統計開始年
5	1	豊岡	418.0	128.7	325	1918
		舞鶴	517.5	144.5	358	1947
		京都	415.0	160.8	258	1881
	2	彦根	347.0	150.2	231	1894
		洲本	401.5	154.0	261	1919
		和歌山	340.0	150.0	227	1880
		神戸	280.0	149.7	187	1897
		3	大阪	307.5	145.5	211
9	2	奈良	292.5	143.5	204	1953
		姫路	609.0	147.6	413	1948
		洲本	814.0	185.4	439	1919
		潮岬	663.5	304.8	218	1913

表9：「月降水量の少ない方から」の順位更新表

月	順位	地点名	月降水量			
			降水量(mm)	平年値(mm)	平年比(%)	統計開始年
1	1	大阪	0.5	45.4	1	1883
		潮岬	0.0	99.7	0	1913
		奈良	1.5	49.6	3	1954
	2	姫路	4.5	35.9	13	1948
		神戸	3.0	37.8	8	1897
		洲本	2.5	45.6	5	1919
3	2	姫路	30.0	96.0	31	1948
6	2	舞鶴	64.0	169.9	38	1947

表10：「月間日照時間の多い方から」の順位更新表

月	順位	地点名	月間日照時間			
			日照時間(h)	平年値(h)	平年比(%)	統計開始年
1	1	姫路	194.9	149.2	131	1948
		神戸	192.2	145.8	132	1898
		大阪	196.0	142.6	137	1890
		洲本	188.0	139.4	135	1919
	3	3	潮岬	231.2	189.1	122
4	3	潮岬	243.2	191.9	127	1913

注1：月平均気温、月降水量合計、月間日照時間合計について、極値・順位値が更新された統計項目について掲載しています。また、掲載は、極値・順位値3位までの更新分としています。

なお、各統計項目が掲載されていない月は、極値・順位値に更新はありません。

注2：地点名の「※」は、タイ記録です。